

∞メニュー∞∞∞

- 1 夏の研修会より～話し合い活動を活性化するアイデア その3
- 2 学習指導要領解説～特別活動編～を読む その6
- 3 第2回中国地区小学校特別活動研究大会のお知らせ
- 4 メルマガ編集部からのお知らせ

∞∞∞

1 夏の研修会より～話し合い活動を活性化するアイデア その3

山口市立平川小学校 梶田崇晴

前回、話し合い活動を活性化するための具体的な手立てということで、話し合い活動に直接かかわるアイデアを紹介しました。今回からは、話し合い活動を間接的に支えるアイデアに迫ってみます。

話し合い活動を活性化するものとして間接的に支える場面では、6つのポイントがあると考えています。

- (1) 議題を集めるアイデア
- (2) 計画委員会でのアイデア
- (3) 学級内に好ましい人間関係をつくるアイデア
- (4) 話し合いを好きにするアイデア
- (5) 世論を高めるアイデア
- (6) 学級目標を意識させるアイデア

今回は、(1)と(2)を紹介します。

=====

(1) 議題を集めるアイデア

=====

話し合いを始めるには議題が必要です。そのために、3つの視点から支援していきましょう。

- その1 ポストを準備しよう
- その2 学級会コーナーをつくろう
- その3 議題を出すきっかけをつくろう

それぞれについて紹介します。

その1 ポストを準備しよう

→3種類のポストなんていかがですか？

子どもたちがどういうことを書いてポストに入れたらいいのか迷うことがあります。そこで、「こまったポスト（問題解決）」「やってみようポスト（集会）」「工夫ポスト（係などの仕事）」という3種類のポストを準備してみましょう。

議題カードの色を変える，ということもやってみたらいいかもしれませんね。

その2 学級会コーナーをつくろう

→教室に学級会コーナーをつくりましょう。

ここに掲示するのは2つ。

一つは、「学級会活動の流れ」です。「議題を集める→議題を決める→計画を立てる→話し合いをする→話し合ったことを実践する」という一連の流れを分かりやすくまとめて掲示しておきます。

もう一つは、「議題処理コーナー」です。出された議題がどのように処理されたのか，みんなに分かるようにしておくことが大切です。

その3 議題を出すきっかけをつくろう

→子どもたちの中には，どういうものが議題になるのか分かっていない子もいます。そこで，子どもたちの生活の中から議題になりそうなものを見つけ，それを本人に知らせることによって，提案の勇気づけを行いましょう。

こんなところに「議題のもと」が隠れていることがあります。

- 学級日誌や個人の日記から
- 朝の会・帰りの会で問題になったことから
- 遊びの中（休み時間）のみんなの声（つぶやき）から
- 係活動や当番活動から
- 掃除や給食の子どもの訴えから
- 他のクラスの活動や児童会の活動の中から

議題見つけの超簡単裏技！

子どもたちがどういうことをやりたい，話し合いたいと思っているのかを簡単に知る方法をお教えしましょう！

まず，学級会で話し合う議題の種類について説明します。

今こまっていること。こういうことをやったら学級がもっと楽しく過ごしやすくなるだろうと思うこと。など

「顔を伏せて，目を閉じましょう。」

「さっき説明した学級会で話し合いたいことがある人は静かに手を挙げてください」

(ここでは何人手を挙げてよい)
「顔を上げて、目を開けましょう」
「話し合いたいことがあると手を挙げた人が○人もいました(人数はちょっと多めにいうことがポイント)」
(議題カードを配る)
「さっき手を挙げた人は、その内容を議題カードに書いてください」
「手を挙げなかった人は、手を挙げた人がどういうことを話し合いたいと思っているのか予想してみましよう」

手を挙げなかった子も「どんなことに困っているのだろうか?」ということ予想して書きます。予想するという事は、自分の中にも何かしら引っかかっているものなのです。ですから、子どもたちの思いを知ることができるというわけです。

=====
(2) 計画委員会でのアイデア
=====

話し合いの実施計画をつくるのが計画委員会の仕事です。そこで、計画委員会に3つの視点から支援していきましょう。

その1 必要な議題を選定しよう
その2 話し合いの柱をつくろう
その3 情報(意見)を集めておこう

それぞれについて紹介します。

その1 必要な議題を選定しよう
→話し合いを活性化させるには、その議題に6つの条件があります。

- 学級生活をよりよく、楽しくできる(課題性)
- 学級の問題で、みんなに関係がある(相互性・協同性)
- 急いで解決しなければならない(緊急性)
- 決めたことを具体的に実行できる(現実性)
- 自分たちで創意・工夫ができる(創造性)
- 自分たちで決めることができる(自治性)

出された議題が、この6つの条件をクリアできているのかどうかを、計画委員会の子どもたちと話し合ってみてください。

その2 話し合いの柱をつくろう
→計画委員会では、話し合いがスムーズに進むように計画を立てておきます。その

ためには、次の2段階に分けて考えておくといいいでしょう。

第1段階 次の5つについて考えさせましょう。

- ◇今、何が問題なのか（具体化）
- ◇なぜそれが問題なのか（理由）
- ◇どうしてその問題がおこったのか（原因）
- ◇実態はどうなのか（実態、現状）
- ◇この問題をどうしたらいいのか（解決への見通し）

第2段階 問題解決のために決めておくべきことを洗い出します。

その中で、「話し合って決めるもの」と「計画委員に任せるもの」に分けます。

- ・1時間で話し合う柱は2つ程度に絞った方がよい。
- ・何を話し合わなければいけないか（課題性）をもとに絞る。
- ・みんなの知恵を借りたいのはどこか、をもとに絞る。

その3 情報（意見）を集めておこう

→みんながどんな意見を持っているのかがわかっていると、話し合いを進めるのに都合がいいですね。事前に学級会ノートを集めて、どういう意見があるかをチェックさせておきましょう。

「これはいい！」と思う意見は、座席表などに記録させておくといいいですね。

続きは次号で

2 学習指導要領解説～特別活動編～を読む その6

山口市立平川小学校 梶田崇晴

このたびの学習指導要領の解説書、かなり分厚くなりましたね。

特別活動編でいえば、現行の解説書が89ページなのに対して、新学習指導要領の解説書は123ページです。30ページ以上も増えています。

何でそんなに増えたのでしょうか？

それは具体例がすごくたくさん掲載されているということなのです。

新しい解説書では、「例えば」という文言が91カ所出てきます。また、「具体的」という文言が71カ所出てきます。

おまけに図や表もたくさん掲載されているのです。

これはどういうことでしょうか？

これまで、特別活動の実践は、一部の実践者だけのもの、というイメージがありました。特別活動の指導の仕方をなかなかうまく伝えられないという状況があったよ

うに思うのです。そのため、特別活動を広めようという人たちから「テキスト（教科書）のようなものがあるといい」という声がたくさんあがっていました。

今回の新しい解説書は、それらの声に応えてくれたもののようです。

この解説書をじっくり読めば、だれにでも特別活動の指導の仕方がわかるのです（同時に特別活動のすごさもわかります）。

ちなみに「学級活動」のページは、現行の解説書ではが18ページなのに対して、新しい解説書は31ページもあります。

杉田調査官の熱い思いがひしひしと伝わってきます。

次回から、その具体的な部分を少しずつ読み解いてみようと思います。

3 第2回中国地区小学校特別活動研究大会のお知らせ

第2回中国地区小学校特別活動研究大会が、山口県の長門市で行われます。以下、案内です。

大会主題：子どもが進んで考え、いきいきと取り組む特別活動

～豊かにかかわり合いながら身につける人間関係形成力～

期日：平成20年11月7日（金）

会場：長門市立浅田小学校

〒759-3803 長門市三隅下2002-2

電話0837（43）0759

日程： 9：00～ 9：30 受付

9：30～10：15 公開授業

授業者 低：丸橋教諭 中：中村教諭 高：田村教諭

10：30～11：30 児童集会

11：40～12：30 分科会

12：30～13：20 昼食

13：20～13：40 開会行事

13：40～14：10 研究発表

14：10～15：40 記念講演

15：40～16：00 閉会行事

分科会

1：学級活動（低） 提案者：広島県 浅木森教諭

2：学級活動（中） 提案者：島根県 米津教諭

3：学級活動（高） 提案者：鳥取県 浅井教諭・泉教諭

4：児童会活動 提案者：岡山県 長尾教諭・味野教諭

講演

「改訂でここが変わる～人間関係を築く力や社会参画の態度を育む～」

文部科学省教科調査官 杉田洋先生

中国地方の先生方，たくさん参加いただいて，中国地方の特別活動を盛り上げましょう。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第67号は11月上旬ごろ発行予定です。

次号も，「夏の研修会より」というテーマで，話合いを活性化するアイデアについてまとめます。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は242名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については，山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは，読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい，ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん，みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ，共有していきましょう。

本メールマガジンでは，次のような新しいテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

*こんな時，どうする？コーナー

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し，その時，どういう手立てをう

てばよいか，についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

*学級づくりで，はっ！とさせられたこと

長く学級担任をやっていると，自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

*子どもってすごいなあ！と思ったこと

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると，「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介しあいませんか。

みなさんも，ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（美祿市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）

=====